

# 鳥取生まれの技術と技能のアンサンブル

- ♪ 筆跡から、その人のクセにあった万年筆を作るといふ、長嶋監督も愛用の万年筆
- ♪ 陸上女子短距離のエース福島千里さんが日本記録を塗り替えた愛用のシューズ
- ♪ おどり炊きでお米のおいしさを引き出した、高額でも飛ぶように売れる炊飯器

これらの優れた技術やアイデアは、ものづくりの神髄を究めた鳥取にゆかりのある技術者・職人の作品です。彼らのものづくりに対する取組や情熱、体験談に耳を傾け、「ものづくり」の楽しさや素晴らしさ、そして誇りを再認識する機会になることを願い、ものづくり講演会を開催します。

コーディネーター 鳥取大学工学部長 田中久隆 教授

教育の質を保証するJABEE（日本技術者教育認定機構）審査に教育プログラムが認定され、「知と実践の融合」を教育理念として取り組む鳥取大学工学部のリーダー。ものづくりと教育の両面に造詣が深い。

**【コーディネーターからのメッセージ】**

鳥工のみなさんへ旋盤工・作家の小関智弘さんの言葉をNHK人間講座より引用して贈ります。  
 「技能とは、人の手の技や知恵を経てはじめてものを作り上げることができる技術のこと」  
 「技術は進化するが、そのとき技術は、更に高度な技能を人に求めてくるだろう」



万年筆博士  
 代表取締役 山本 竜 氏  
 — オリジナル万年筆製作 —

**【講師のプロフィール】**

オールハンドメイドのオーダー万年筆を提供する人気店の3代目。多くのファンを魅了する技は、砥石の音や刃物の音など、工房から聞こえてくる様々な音とそのリズムによって鍛えられた。先人が築き上げてきた文化を伝え、お客様に驚きと感動を与えたいと、今日も初代(祖父)と同じ音とリズムを奏でながら職人技に磨きをかける。



=====**講師からのコメント**=====  
**【仕事との出会い】**アメリカ横断放浪の旅、東京での起業経験、多くの失敗もりましたが、最終的には失われつつありながらもかけがえのないものづくりを追求する家業へと帰鳥しました。

**【ものづくりの魅力】**相手にとって心地良いもの、喜ばれるものでなければ、たとえ寝る間を惜しんで努力して作ったものでも、この世から淘汰されます。使い手と作り手がより近いものづくり、使い手にシンクロしたものづくりが必要です。使い手にシンクロしたものが出来たときの双方の喜びは、何にもかえがたいものとなります。

**【これからの展望】**インターネットの活用で海外オーダーも伸びていますが、やはり人と人のダイレクトなコミュニケーションが重要です。ニューヨークへ出店し、世界へハンドメイドフルオーダー万年筆を伝えるのが夢です。

アシックス・スポーツ工学研究所  
 フットウェア統括部カスタム生産部  
 生産チーム主査 田崎公也 氏  
 — スポーツシューズ製作 —

**【講師のプロフィール】**

やり投げの選手だった高校時代、アシックスのトレーナーとの出会いに靴づくりを夢見る。選手の声や聞き、実際に見て触って、足形を計測し、特徴やパフォーマンスを解析して世界に一足しかないシューズを作り上げていく。陸上女子短距離のエース福島千里選手は田崎さんが手掛けたシューズで日本新記録を鳥取の大会で更新した。



=====**講師からのコメント**=====  
**【仕事との出会い】**陸上選手の現役時代からシューズに対してこだわりと興味があり、究極のシューズを自らの手で具現化したいと思っていました。当時、全国高校合宿でアシックス所属の情熱あるトレーナーの方のお話を聞き、『アシックス』で働きたいという気持ちが高まりました。

**【ものづくりの魅力】**ある目的を持って人の手を加えることで、ひとつひとつ無機質なも(材料)が立体化し息吹する。選手のニーズにあったシューズで最高のパフォーマンスを発揮したとき見せる最高の笑顔。この瞬間こそが最大の魅力です。

**【これからの展望】**ものづくりに到達点はありません。もっと良いシューズが出来るかもしれない。そうすれば選手のパフォーマンスがもっと上がるかもしれない。そう考えながら常に最高のものづくりに取り組むことで、スポーツ社会の発展に微力ながら少しでも貢献したいと思います。

三洋電機コンシューマエレクトロニクス  
 家電事業部製造統括部技術三部  
 技術一課課長 保木本明雄 氏  
 — 家電製品製作 —

**【講師のプロフィール】**

入社以来、ジャー炊飯器開発一筋25年のベテラン技術者。1992年に業界初の圧力IHジャー炊飯器を開発するが、売れない年月が続いた。親睦会で飲んだ、ある缶ビールの仕掛けから、圧力の変化を利用して、お米をかき混ぜながら炊く方法を編み出した。目指すのは、「かまどを超える」炊飯器。今日も究極のおいしさを追求している。



=====**講師からのコメント**=====  
**【仕事との出会い】**1985年春、鳥取工業高校を卒業し鳥取三洋電機㈱に入社しました。入社当時から炊飯器の開発グループの一員となり、最初の数年間は、毎日10回ご飯を炊いていました。

**【ものづくりの魅力】**何より一番は、お客様に喜んでいただくことです。それから同時に、開発の長い苦勞を忘れさせてしまう、仲間達と共有する製品を作り上げた達成感です。

**【これからの展望】**おどり炊きの販売累計は200万台に達しました。しかし、日本には5000万世帯の家庭があります。さらに新しい炊飯器を作って、より多くの家庭やお店に美味しいご飯を提供していきたいと思えます。

期日：平成22年12月7日（火）

会場：鳥取市民会館大ホール

日程：12：20 会場

13：00 開会

14：45 閉会

主催：鳥取工業高等学校

対象：鳥取工業高校全生徒職員、保護者、中学生、中学校教員、鳥取工業高等学校学校評議員、鳥工産業教育懇話会委員、鳥取テクノヒルズ会員 他

問い合わせ先：鳥取工業高等学校 0857-51-8011